



新潟大附属新潟中学校が春の公開授業研究
「豊かな対話を求め、確かな学びに向かう生徒を育む授業」

新潟大学教育学部附属新潟中学校は、平成29年度「春の公開授業研究」を開催する。研究主題は「豊かな対話を求め、確かな学びに向かう生徒を育む授業」(1年次)。生徒にとって意味や価値のある課題解決を通して、生徒が「見方・考え方」を教科等の言葉と関係付けながら、その有用性に着目したり、意識的に用いたりすることを繰り返し経験することで、「見方・考え方」を中核として自らの学びをどのように自覚していくかに研究の焦点を当てている。

授業では、課題を解決するために、仲間とのかかわりの中で教科等の「見方・考え方」を働かせ、学習内容と実社会、実生活、自分の生活とのつながり、現実の問題解決の方法とのつながりを実感できる授業を構想する。生徒が仲間と課題を共有し、その解決に向け

て、一人ひとりの考えの違いを尊重し、多様な考えを比べ、関係付けながらよりよい見方・考え方を創り出せた実感がともなったときに、生徒同士のかかわりに対話が促される

と考える。対話の中で、生徒が確かな学びに向かうように、「意味ある文脈での課題設定」「対話を促す工夫」「学びの再構成を促す工夫」の3つの重点から授業を構想する。

問い合わせは、同校(電話025-223-8341 FAX025-223-8351) eメール fucyu@jhs.niigata.ed.niigata.ac.jpまで。公開授業の授業内容、申込方法の詳細は、ホームページ([http://jhs.niigata.ac.jp](http://jhs.niigata.ed.niigata.ac.jp))で公開中。